

令和6年度 個人研究論文募集要項

(幼・小・中・高・特別支援学校等)

(公財) 日本教育公務員弘済会熊本支部

1. 趣旨

教育に関する実践的研究を行う教職員の個人研究に対して助成金を交付し、本県教育の充実・振興に寄与する。

2. 応募資格

熊本県内に勤務する教職員で、教育に関する研究を行っている個人。

ただし、前年度応募された方、及び、他の機関等に応募された論文は、受付出来ません。

3. 研究内容

- (1) 教育課程に関する実践的研究等
- (2) 学校経営、学年、学級経営に関する実践的研究
- (3) 生徒指導等、児童・生徒の健全育成に関する実践的研究
- (4) 国際理解教育、情報教育、環境教育に関する実践的研究
- (5) 特別支援教育に関する実践的研究
- (6) 人権教育に関する実践的研究
- (7) 教育に関する提言や実践的報告

4. 申請の方法

- (1) 「個人研究助成金申請書(1)」・・・1通
- (2) 論文の作成は、原則パソコン(Word)を使用してください。
※別紙「個人論文の書き方」を必ずお読みください。
- (3) 論文に「個人研究助成金申請書(1)」を添付して、(公財)日本教育公務員弘済会熊本支部宛申請ください。なお、「個人研究助成金申請書(1)」は支部HPからダウンロードするか、或いは、申請を含め、学校担当LCが学校へ訪問した時にご相談ください。

5. 提出期間 令和6年7月22日(月)～令和6年8月23日(金)(期日厳守)

※提出期間が変更となりましたのでご注意ください。

6. 研究物の審査

研究物の審査にあたっては、教育振興事業選考委員会の選考を経て、最優秀賞・優秀賞・優良賞を決定します。

- | | | | |
|----------|-------|----------|------------------|
| (1) 最優秀賞 | 1名程度 | (1人 5万円) | ※ 本部の「日教弘教育賞」へ推薦 |
| (2) 優秀賞 | 20名程度 | (1人 3万円) | |
| (3) 優良賞 | 40名程度 | (1人 2万円) | |

7. 表彰

最優秀・優秀・優良論文執筆者に対して、成績の報告及び、研究助成金交付式(令和7年1月11日(土)開催)の案内をします。

個人論文の書き方

(作成者は論文を書く前に必ずお読みください)

1. 論文の主題と副主題

令和6年度個人研究論文募集要項「3. 研究内容」の中からお選びください。

2. 用紙 (A4判)

論文作成は、原則としてワード (Word) 等を使用してください。

指定の原稿用紙はありませんので、下記のとおり設定のうえ、必ず「ア 要旨、イ 本文」を提出してください。

ア 要旨 (必須) A4 1枚 様式は48字×43行×1段組×A4判1ページ横書きとします。(フォントサイズ10.5) 執筆者の所属学校・役職・氏名・研究主題・研究副題・研究の要旨をまとめてください。
イ 本文 (必須) A4 4枚以内 様式は24字×43行×2段組×A4判4ページ横書きとします。(フォントサイズ10.5) この中に研究主題・副題・執筆者の記載欄(24字×6行×2段組・下記3を参照)を含みます。 ただし、図表・写真等を本文中に掲載する場合は、デジタルデータにして、4ページ内におさめてください。

3. 論文の書き方

- (1) 論文は横書きとします。
- (2) 文字は常用漢字、現代かなづかいを使用してください。
- (3) 本文1ページ目の6行(段組み左右)を用いて下記のとおり印字してください。

① 所属学校及び役職・氏名(記入例)

- 1 所属校 熊本市立花畑小学校
- 2 役職 教諭
- 3 氏名 熊本 花子
- 4 研究主題
- 5 研究副題

- (4) 小見出しや文章の書き出しの前は、ひとマスあけてください。
- (5) 図表・写真を掲載する場合は、判断しづらくなならないように鮮明なものをお願いします。

4. その他

- (1) 論文は未発表のものに限ります。
- (2) 提出していただいた原稿等については返却いたしません。
- (3) 著作権は、公益財団法人 日本教育公務員弘済会熊本支部に帰属します。
- (4) 令和6年8月23日(金)(必着)の提出期限をお守りください。事務処理上、期限以降の提出は受け付けできませんのでご注意ください。

5. 昨年度の感想から

- 論文としての構成を工夫し、実践検証部分がよく伝わるようにしてほしい。
- 実践事例の羅列や単なる報告にならないよう、絞り込みを行い、研究の論点が明確になるようにしてほしい。
- 最後のまとめが序論の仮説などと呼応するように整理し、成果と課題をもとに研究の普遍化を目指してほしい。
- 実践に当たっては、これまでの研究を把握したうえで、論点を明確にして取り組んでほしい。